令和５年度

家庭教育学級の手引き

運営委員用

印西市教育委員会

はじめに

家庭教育は、親等が子どもに対して、基本的な生活習慣やものの感じ方・価値観などの人格の基本となるものを身につけさせるために、家庭で行う教育です。家庭での教育は、家族の豊かな人間関係を基盤として、親と子どもの人格的結びつき・愛情を根底とした密度の濃い心のふれあいで、子どもの発達・成長に合わせながら、意図的・無意図的に行なわれなければならないものです。

家庭教育の範囲は、子どもの人格・性格の形成、基本的生活習慣や価値観の確立等の精神的・肉体的な面のすべてにおよび、子どもの発達・成長過程の各時期の課題に応じて行われるものです。したがって、その成果は個人にとどまらず家庭や地域社会の発展につながります。

Ⅰ　家庭教育学級とは

1．目　的

親等が家庭で子どもの教育を行う時に必要な心構え・留意点などを学習する機会を提供し、家庭教育の充実を図りながら、子どもたちの健やかな成長に資すること・学級生自身の向上を目的としています。

家庭教育学級における学習は、親等が潜在的にもっている子どもへの教育に関する問題意識の掘り起こしからはじまり、子どもの教育に関して持っている（考えている）さまざまな問題・心配・悩みなどの解決のために自発的に取り組み、その学習活動の成果をもとに、生活の中で具体的な課題を解決していくことが望まれます。

2．方　針

（1）家庭教育に関して集団で学ぶ場とする。

（2）子どもを正しく理解し、導くための知識・技術を身につける場とする。

（3）地域の子どもや家庭教育に対する関心を高める場とする。

（4）個人学習やグループ学習に発展することを目指す。

（5）学習成果をもとに、生活の中で具体的な課題を解決する実践活動を促す。

（6）学習成果を家庭・地域社会に活かす。

３．学習領域

（１）家庭の機能

近年の社会の変動とともに家庭生活は大きく変化し、家庭が果たしてきた機能が阻害され，それとともにいろいろな問題が生じています。家庭の持つ機能について理解を深めながら、社会人として、家庭人として、親のあり方・生き方について学習します。

（２）子どもの育つ家庭環境

子どもは、毎日の生活の中でごくあたりまえに育ちながら自らの個性を形成していきます。子どもの育つ家庭環境について、どう考え、どのような配慮をすればよいかについて考えます。そして、「よりよい家庭づくり」をめざして学習します。

（３）子どもの理解と接し方

子どもの発達には、多くの共通性があります。子どもの急激な発達の過程について理解し、子どもへの接し方の知識・技術の習得をめざして学習します。

（４）学校（幼稚園・小学校・中学校）や社会との関わり

子どもは、家庭の中だけで育つものでなく、友達・学校・地域社会と関わり、成長していきます。子どもの健全な発達・成長を促すために、家庭と学校・家庭と社会の関わり方について考えます。

Ⅱ　印西市の家庭教育学級

１．印西市の家庭教育学級

（１）必修家庭教育学級…公立幼稚園・小学校・中学校の協力を得て、市教育委員会が開催する。

①対象

〇幼稚園年少・年中・年長の保護者〇小学校１年生の保護者〇中学校１年生の保護者

②要件

〇学習時間・・・・・年５～７回程度（無理のない範囲で）

〇開設時期・・・・・５月～１月下旬

〇会　　場・・・・・各幼稚園、小学校、中学校、社会教育施設等

〇内　　容・・・・・家庭教育に関するもの

必　修　課　題

❖人権・同和教育に関連した学習……１講座

❖家庭教育シアターフォーラム……１講座

※シアターフォーラムで人権・同和教育を学習するなど、兼ねて１講座としても良いです。

❖市主催「社会を明るくする運動・青少年健全育成大会」へ数名の参加

【７月８日（土）　印西市文化ホール】（予定）

※詳細が分かり次第改めて通知します。

（２）学年家庭教育学級…必修学級修了を問わずに、原則として学年単位で行う自主的に運営する

①対象　　〇小学校２～６年生の保護者　　〇中学校２～３年生の保護者

②要件

〇学 級 生・・・・１０人程度　※実情により１０人以下でもかまいません。

〇学習時間・・・・年間３～５回程度（無理のない範囲で）

〇学習期間・・・・４月～２月下旬

〇会　　場・・・・小学校、中学校、社会教育施設等　※制限はありません。

〇内　　容・・・・家庭教育の実践・家庭づくりにつながるもの

2. 家庭教育学級運営委員の役割

（1）運営委員会の設置（家庭教育学級主事の指導・助言のもと）

	必　修　学　級	学　年　学　級
①役員	○運営委員長……１名 ○副運営委員長…若干名 ○運営委員……若干名（各学級の実情により選出）	
②役割分担	必要に応じて、回ごとに担当者などを決め、役割を分担して運営する。 （第１回担当者A氏・B氏、第２回担当者C氏・D氏、第３回B氏・D氏等）	

（2）運営について（家庭教育学級主事に指導・助言を受けながら）

※報告・提出は，家庭教育学級主事（幼稚園長・小中学校教頭）に。

４　月	必　修　学　級	学　年　学　級
①　運営委員の選出 ②　学級名の決定	運営委員と家庭教育主事の相談の上、選出・決定をお願いいたします。	【担当】運営委員
③　家庭教育学級運営委員研修会	**4月27日（木）１０時～** 家庭教育学級の概要や運営方法についての説明会です。	
④　各学級にて運営委員会を開催	●班編成や各講座の担当、年間学習計画書の作成などを行う。 ※各学校にて任意で開催してください。	
５　月	必　修　学　級	学　年　学　級
①　年間学習計画書の作成・提出	**5月１８日（木）までに　教頭先生へ提出** ※不明な点がありましたら、生涯学習課までお問い合わせください。 【年間学習計画書の内容】 ●年間テーマ（重点目標）の検討 ●開催予定日、学習方法、学習内容、講師、会場の検討 ●必修課題の確認・選択 ●講師の選定・依頼 **※講師の方との調整は各学級にて行ってください。** ●学習会場の確保 ※学習会の開催にあたり、事前に、園・学校や公民館等と会場・内容・講師等について十分に連絡調整を行う。	

５　月	必　修　学　級	学　年　学　級
② 予算書の 作成・提出	5月22日（月）までに　教頭先生へ提出 ※教頭先生と相談の上、作成してください。 【予算書の内容等】詳細は別冊「補助金マニュアル」を参照。 不明な点などございましたら、生涯学習課までご相談ください。	
６月　～　１月	必　修　学　級	学　年　学　級
① 開級式の開催 ② 各学級にて講座を実施 ③ 閉級式の開催	○学習記録用紙の提出 各回終了後に運営委員が作成してください。 ※学習した日から、２週間以内に主事（教頭）へ提出してください	○年間学習報告書作成のための準備をお願いします。
１月　～　３月	必　修　学　級	学　年　学　級
① 修了者数の把握	○原則閉級式の２週間前までに主事（教頭）へ報告	
② 年間活動反省記録の作成・提出	【提出期限】１月２５日（木） ※作成後、主事（教頭）へ提出 成果・課題も記入する。	
③ 年間学習報告書の作成・提出	【提出期限】１月２５日（木） ※主事（教頭）が中心となって作成する	【提出期限】２月２９日（木）

1月　～　3月	必　修　学　級	学　年　学　級
④ 決算書の作成・提出	**提出の目安　2月頃（すべてのプログラムが終わってから）** **※主事（教頭）と相談の上、作成してください。** ●領収書は原則、押印があるものを添付する。 ●領収書のあて名は「〇〇学校家庭教育学級」など家庭教育学級で買ったものだとわかるようにしてください。 ●添付する領収書は「何を買ったのか」が「明確」にわかるようにしてください。	

❖主事（教頭先生）と相談しながら、

家庭教育学級の運営をお願いします。

（3）具体的な活動内容

学　習　前

	必　修　学　級	学　年　学　級
1．内容・方法の検討	●学習の内容・方法の細部を検討する。 ※他の小学校や中学校区なども含めて、他の学級との合同学習も検討してください。	
2．講師の選定・依頼	●生涯学習ガイド講師一覧等参照 ●ネットでの検索、お知り合いへの依頼などもあり。	
3．会場の確保	●学校や公民館・交流館等の会場の確保と事前打合せ	
4．学習教材等	●学習に必要なものの検討・手配	
5．開催案内の作成・配布	●学級生への開催案内（チラシ）の作成・配布 ●出席者の把握	

学　習　中

	必　修　学　級	学　年　学　級
1．会場の準備	●感染防止対策 ●学習形態により、机・椅子の配置 ●受付の準備 ●学習教材（共通教材）の準備 ●講師の対応	

学　習　後

	必　修　学　級	学　年　学　級
1．反省・評価	学習ごとに反省と評価を行う。 ※簡単に反省・評価できる参加者アンケートを集約し、学級だより等に活用する。	
2．学級だよりの作成・発行	学習の成果を形として残し、欠席者等への学習内容の伝達や学年保護者への啓発とする。（学習成果の共有）（任意）	
3．学習記録の作成・報告	**学習直後に指定の用紙に記入する。**	
	学習記録用紙（別添） ① 運営委員は各回終了後、**２週間以内に教頭先生に提出**する。	年間学習報告書（別添） ①運営委員は、３月に教頭先生に提出する。

３．その他

（１）合同開催の工夫

〔１〕合同方法

●必修学級と学年学級を合同で行う。
同一学校内のため、連携しやすく、連絡や合同が比較的容易にできる。

●近隣の学校の学級と合同で行う。
同学年の保護者同士のつながりが広がり、内容や運営の工夫を学ぶことができる。

〔２〕実施方法

●合同開催…同一の年間学習計画で、各学級の委員が協力して行う。
参加者の増、学級委員の負担軽減が図られる。
（例）学級委員　１学級４人　→　２学級各２人

●交互開催…同一の年間学習計画で、各学級の委員が各回を交互に担当して、行う。
参加者の増だけでなく、担当でない回は参加のみとなり、実質回数の減となる。
（例）第２回担当、〇〇小学校〇〇学級。第３回担当、△△小学校△△学級。

●個別合同開催…それぞれの年間学習計画で、同様のテーマ・内容の回に合同で行う。
参加者の増だけでなく、最低人数制限がある講座（救命講習など）を行いやすくなる。

（２）父親参加への工夫…平日夜間などの開催を検討する（公民館や社会教育施設等の活用）。

（３）運営委員の負担軽減…会議・打合せ回数の削減や班活動を主体とした運営などを検討する。
（企画・運営に参画することによる意識の高揚を図る）

（４）幼児保育の工夫…保護者・地域・学校ボランティアなどから保育ボランティアの発掘を検討する。また、キッズスペースを設ける。

●ボランティアセンター　保育ボランティア（社会福祉協議会内）
【電　　話】０４７６－４２－０２９４
【受付時間】月～金曜日　９：００～１６：００
【備　　考】〇無償ボランティア
〇個人登録制で日時・曜日は要相談
〇ボランティアの都合上、希望に添えない場合があります。

（５）**給食センターの見学について，７４ページからの「給食センター見学・講義等取扱要綱」をご確認の上、各給食センターに直接申請をお願いします。**

（６）家庭教育講座・家庭教育シアターフォーラム・生涯学習まちづくり出前講座の積極的参加

（７）保険　→　スポーツなどでけがが想定される場合や活動の行き帰りの事故に対する補償も含めたい場合、民間の行事保険を検討してください。

≪その他≫

❖講座開催の際、体調の悪い時は、参加を控えましょう。

❖感染症拡大や悪天候など、開催が懸念される場合は、運営委員と家庭教育主事で相談し、決定については、スクールメール等を活用し学級生に連絡してください。

❖開催場所については、これまで同様、適切な環境の設定についてご配慮をお願いします。

Ⅲ　家庭教育学級運営資料

家庭教育学級　年間学習計画書

印西　幼稚園・(小学校)・中学校　1　年　すこやか　学級

年間テーマ（重点目標）

親子のふれあいを深め、子どもの豊かな心を育成する。

※必修学級は「健康」「環境」など今年度の重点的なテーマを設定して、年間計画に反映しましょう。

回	実施日	テーマ	学習方法	学習内容	講師名	会場
1	5月21日（木） 10：00～11：30	子育て	講話	**「家庭教育学級でママ友を作ろう」** ・開講式 ・講話 ・**年間学習計画の作成**	必修課題を忘れずに計画しましょう。	
2	6月11日（木） 10：00～12：30	食	見学 試食 講話	**「わが子の給食を知ろう」** ・給食センター見学 ・子どもの成長と栄養	高花給食センター 栄養	食育の観点から、給食について学ぶ。
3	7月　8日（日） 9：00～11：30	必修課題		**「子どもたちの心の声」** ・**青少年健全育成大会**	講師　●●大学 教授 ●●　●●	文化ホール
4	7月11日（木） 10：00～11：30	安全	実技	**「わが子の命を守る～私たちのできること～」** ・普通救命講習を学ぼう。	[illegible]	いざというときに役立つ救命方法を学ぶ。
5	9月24日（木） 10：00～11：30	教養	講話	**「スマホ～手の中の恐怖～」** ・スマートホンの危険性と安全に使うための知識を学ぼう。	情[illegible] ●●	身近になりすぎたスマホからわが子を守る。
6	11月13日（木） 10：00～11：30	必修課題		・**家庭教育シアターフォーラム** **「子どもたちに気づいてほしいやさしさ」**	印西[illegible] ●●[illegible]	学級生が興味を持てそうな題名をつけてみましょう
7	12月12日（木） 10：00～11：30	教養	実習	**「ホッと笑顔で子どもと笑おう」** ・子どもとできる体操で心と体をリフレッシュしよう。	ヨ[illegible] ●	子どもと一緒に楽しくできることを学ぶ。
8	1月23日（木） 10：00～11：30	子育て	講話	**「家庭教育学級を振り返って～この1年間でかわったこと～」** ・閉講式 ・講話	家庭教育指導員 ●●　●●	学校
9	月　日（　） ：　～ ：					

※実施日は、予定で構いませんが、できる限り日付、曜日を記入して下さい。

※テーマ・学習方法は以下の項目から選択ください。

【テーマ】1．子育て　2．人権　3．環境　4．健康　5．安全　6．食　7．教養　8．趣味　9．その他

【学習方法】1．講義・講演・講話　2．実技・実習　3．見学・鑑賞　4．懇談　5．その他

開級式について（必修学級）

1．目　的　　学級生に対して、家庭教育の意義と重要性についての理解を促し，今後の学習活動への意欲化を図る。

2．期　日　　第１回家庭教育学級運営委員研修会後が望ましい。

3．会　場　　公立幼稚園・小学校・中学校、公民館等

4．主　催　　印西市教育委員会

5．主　管　　公立幼稚園・小学校・中学校家庭教育学級主事

6．対　象　　公立幼稚園・小学校・中学校保護者

☛開級式の流れの例

※和やかな雰囲気で始めることを心掛けましょう。

進行：委員長または副委員長

（１）始めのことば

（２）あいさつ　　各園長・小中学校長・ＰＴＡ会長等

（３）教育委員会メッセージ（印刷物）　　家庭教育学級主事代読

（４）運営委員紹介　　自己紹介（家庭教育学級主事も）

（５）「学級生の心構え」　　運営委員長朗読（手引き　Ｐ１３）

（６）終わりのことば

※式終了後、第１回目の学習活動に移ります。

（例）❖３０分程度の講話
（校長、家庭教育学級主事（教頭）、教育委員会職員等）
❖学級生自己紹介
❖年間計画確認
❖班編成、役割分担　等

閉級式について（必修学級）

１．目　的　　１年間の家庭教育学級の総括をし、今後の家庭教育の意義と重要性についての理解や各家庭の家庭教育の充実を促す。

２．期　日　　１月中

３．会　場　　公立幼稚園・小学校・中学校、公民館等

４．主　催　　印西市教育委員会

５．主　管　　公立幼稚園・小学校・中学校家庭教育学級主事

６．対　象　　公立幼稚園・小学校・中学校保護者

閉級式の流れの例

進行：委員長または副委員長

（１）始めのことば

（２）修了証書授与　　各園長・小中学校長・ＰＴＡ会長等
※呼名は、家庭教育学級主事が行う。

（３）あいさつ　　各園長・小中学校長・ＰＴＡ会長等

（４）終わりのことば

※式終了前後の活動は、各学級で計画してください。

（例）❖３０分程度の講話
（校長，家庭教育学級主事（教頭）、教育委員会職員等）
❖懇談会　等

学習テーマ（具体的課題例）

❖内容を計画する際、参考になさってください。❖

１．子どもからの危険信号（ＳＯＳ）への対応（不登校・いじめ等への家庭の対応）

２．休日の活かし方

３．家庭における性教育と学校における性教育

４．家庭教育における体験学習（親子のふれあいを大切に）

５．子どもにとって父親とは（父親の役割・母親の役割）

６．一人っ子の子育てと二人以上（兄弟姉妹）の子育ての違い

７．核家族の子育てと三世代同居家族の子育ての違い

８．共働きの家庭の子育てとお母さんが家にいる家庭の子育ての違い

９．子どものほめ方・叱り方（あの態度・その一言が……）

１０．子どもの心をどう理解し、育てるか（命の大切さ、思いやり等）

１１．子どもの言語感覚をどう育てるか（言葉遣いについて）

１２．子どもの金銭感覚をどう育てるか（小遣いについて）

１３．子どもの発達段階に応じた子育て（反抗期の対応、読書のすすめなど）

１４．塾と学校（個性を尊重する教育とは）

１５．青少年非行の現状を知る（拡がる薬物・覚せい剤汚染）

１６．携帯電話やインターネットの利用について（危険性や対策、ネットいじめ）

１７．豊かなことばと心を育てる読書について（読み聞かせや読書習慣など）

学級生の心構え

1. わたしたちの学級という意識をもって取り組みましょう。
2. なるべく出席するようにし、欠席の場合は、役員に必ず連絡しましょう。
3. 同じ年頃の子どもを持つ親たちの集まりです。同じような悩みを抱えていることも多いものです。進んで話し合いに参加しましょう。
4. 学習に参加するときは、筆記用具・ノートを用意しましょう。
5. 学習したことは、1つでも実践しましょう。
6. 効果のあったことは、教え合いましょう。
7. 待つ身になって、時間を守りましょう。
8. 一人一役、すすんで協力しましょう。
9. 仲間づくりにつとめましょう。

Ⅳ　家庭教育学級参考資料

前年度（令和4年度）必修家庭教育学級　実施一覧

名称	瀬戸幼稚園　あじさい学級	もとの幼稚園　もとのっこ学級	木下小学校　丘の上学級
ﾃｰﾏ	元気に、楽しく、のびのびと	保護者の親睦を深め、元気に楽しく学び、共に成長しよう！	保護者の親睦を深めて、 楽しく学ぼう。
4月	21（木） ●第一回家庭教育学級運営委員研修会：市役所	21（木） ●第一回家庭教育学級運営委員研修会：市役所	21（木） ●第一回家庭教育学級運営委員研修会：市役所
5月			28(土) ●開級式 ●校長講話 ・講師　校長　小林すみ子　氏
6月	28(火) ●開級式 ●前髪カットとヘアアレンジ ・美容師・小山愛実	23(木) ●開級式 ●子育て講座 ・講師　家庭教育指導員	
7月	１６(土) ●社会を明るくする運動	１６(土) ●社会を明るくする運動	１６(土) ●社会を明るくする運動
8月			
9月	22(木) ●子どもの病気講座 ・講師　成田富里徳洲会医師 中川　良　Dr. 【いには野小との合同企画】		
１０月		６(木) ●アロマテラピー講座 ・講師　前田美紀　氏	１２(水) ●講義　アロマス除菌プレー ・講師　小野真琴 氏
１１月	1(火) ●実技「マクラメ製作」 ・講師　矢島祐紀子　氏	１７(木) ●実技「ハワイアンリース作り」 ・講師　矢島祐紀子　氏 ●開級式	１６(水) ●家庭教育シアターフォーラム 「秋桜の咲く日」 ・講師　家庭教育指導員
１２月			１６(金) ●実技　クリスマスリース ・講師　矢島祐紀子　氏
1月	１７(火) ●子育て講座 ・講師　家庭教育指導員 ●閉級式		27(金) ●子育て講座 ・講師　家庭教育指導員 ●閉級式
2月	１６（木） ●第二回家庭教育学級運営委員研修会：市役所	１６（木） ●第二回家庭教育学級運営委員研修会：市役所	１６（木） ●第二回家庭教育学級運営委員研修会：市役所
3月			

名称	小林小学校　さかのうえ学級	大森小学校　わんぱくじら学級	船穂小学校　たけのこ学級
ﾃｰﾏ	ゆったり子育てしよう	親も子も共に学び楽しい小学校生活にしよう！	子育てについて共に学び、親睦を深めよう
４月	２１（木） ●第一回家庭教育学級運営委員研修会：市役所	２１（木） ●第一回家庭教育学級運営委員研修会：市役所	２１（木） ●第一回家庭教育学級運営委員研修会：市役所
５月		２４(火) ●開級式 ●校長講話 ・講師　校長　香取伸嘉　氏	１３（金） ●開級式 ●校長講話 ・講師　校長　安川　徹　氏
６月	２４（金） ●開級式 ●実技　スワッグ作り ・講師　宮崎ふみえ　氏		
７月		７(木) ●講演「絵本の読み聞かせ」 ・講師　佐野　文　氏	１２（火） ●実技　「ハワイアンリボンレイ」 ・講師　矢島祐紀子　氏
８月			
９月	12(月) ●給食センター見学 ・講師　　栄養士	２９(木) ●リンパセラピー ・講師　秋葉みどり　氏	
１０月			２１(金) ●１・２年生　親子レク
１１月	１４(月) ●子育て講座 ・講師　飯野弥生　氏	９(水) ●家庭教育シアターフォーラム 「SNSの危険から子どもを守る」 ・講師　家庭教育指導員	
１２月			１４(水) ●子育て講座 ・講師　家庭教育指導員 ●閉級式
１月	１９(木) ●リンパセラピー ・講師　秋葉みどり　氏 ●閉級式	１９(木) ●グラスアート ・講師　風岡明美　氏 ●閉級式	
２月	１６（木） ●第二回家庭教育学級運営委員研修会：市役所	１６（木） ●第二回家庭教育学級運営委員研修会：市役所	１６（木） ●第二回家庭教育学級運営委員研修会：市役所
３月			

名称	内野小学校　内野絆学級	木刈小学校　わくわく学級	原山小学校　きずな学級
ﾃｰﾏ	保護者同士の親睦と連携を深め、孤立しない家庭教育の実践	楽しみながら交流を深めよう。	共に楽しく学び、子どもの健やかな成長に役立てよう
４月	２１（木） ●第一回家庭教育学級運営委員研修会：市役所	２１（木） ●第一回家庭教育学級運営委員研修会：市役所	２１（木） ●第一回家庭教育学級運営委員研修会：市役所
５月			
６月	２２(水) ●開級式 ●子育て講座 ・講師　家庭教育指導員	１３（月） ●開級式 ●校長講話 ・講師　校長　御子柴　寛　氏	２４（金） ●開級式 ●校長講話 ・講師　校長　松本博幸　氏
７月	１６(土) ●社会を明るくする運動	５（火） ●実技「科学体験　タイヤのない車作り」・講師　小林　茂　氏 １６（土） ●社会を明るくする運動	
８月			
９月	２１(水) ●講話　めざせ腸美人 ・講師　健康増進課　島崎祐美氏		１５(木) ●給食センター見学 ・講師　管理栄養士
１０月		４(火) ●ラッピング講座 ・講師　岩城あゆみ　氏	
１１月	９(水) ●家庭教育シアターフォーラム「SNSの危険から子どもを守る」 ・講師　市教育センター所長 家庭教育指導員	７(月) ●実技「リフレッシュヨガ」 ・講師　笠原由加　氏	９(水) ●家庭教育シアターフォーラム「SNSの危険から子どもを守る」 ・講師　市教育センター所長 家庭教育指導員
１２月		７(水) ●出前講座 「防ごう子どもの虐待」 ・講師　家庭教育指導員 ●閉級式	
１月			２４（火） ●講話　「目指せ・腸美人} ・講師　健康増進課　栄養士
２月	１６（木） ●第二回家庭教育学級運営委員研修会：市役所 ●講座　レイ作り ・講師　中村由稀　氏	１６（木） ●第二回家庭教育学級運営委員研修会：市役所	１６（木） ●第二回家庭教育学級運営委員研修会：市役所
３月			

名称	高花小学校　さわやか学級	小林北小学校　なのはな学級	小倉台小学校　あすなろ学級
ﾃｰﾏ	1年生の保護者の交流と学びの場とし、お互いを知り、繋がりを持つ。	子どもたちの健やかな成長に資する、学級生自身の向上	保護者同士の親睦を深め、子育てについて考えよう。
4月	21（木） ●第一回家庭教育学級運営委員研修会：市役所	21（木） ●第一回家庭教育学級運営委員研修会：市役所	21（木） ●第一回家庭教育学級運営委員研修会：市役所
5月			
6月	21（火） ●開級式 ●校長講話 ・講師　校長　角鹿智章　氏 ●講話　整理収納講座 ・講師　野村京子　氏	30（木） ●開級式 ●校長講話　　校内見学 ・講師　校長　森下康彦　氏	29（水） ●開級式 ●子育て講話 ・講師　家庭教育指導員
7月	23(土) ●実技　救命入門 ・講師　牧の原消防署員	16(土) ●社会を明るくする運動	16(土) ●社会を明るくする運動
8月			
9月		30（金） ●講話 ヤクルトおなか元気教室	28(水) ●実技　アロマスプレー作り ・講師　小野真琴　氏
10月	2(日) ●実習　お菓子作り教室 ・講師　栗の木代店長		
11月			2（水） ●実習　ミニクリスマスツリー作り ・講師　宮崎ふみえ　氏
12月	13(火) ●実技　ストレッチ講座 ・講師　佐々木奈穂子　氏		14（水） ●講演　素話 ・講師　ささのは会　篠原年枝　氏 ●閉級式
1月			
2月	16（木） ●第二回家庭教育学級運営委員研修会：市役所	2（木） ●閉級式 ●校長講話 16（木） ●第二回家庭教育学級運営委員研修会：市役所	16（木） ●第二回家庭教育学級運営委員研修会：市役所
3月			

名称	西の原小学校　けやきっこ学級	原小学校　やまゆり学級	六合小学校　ひまわり学級
ﾃｰﾏ	保護者の親睦を深め、親も学ぼう	楽しく、健康的な日々を送ろう！	楽しく、明るく、元気に学ぼう
4月	21（木） ●第一回家庭教育学級運営委員研修会：市役所	21（木） ●第一回家庭教育学級運営委員研修会：市役所	21（木） ●第一回家庭教育学級運営委員研修会：市役所
5月			21（土） ●開級式●校長講話 ・講師　校長　友野吉弘　氏
6月	29（水） ●開級式 ●ＤＶＤ鑑賞・講話 「いじめ脱却マニュアル」 ・講師　門脇校長・深澤教頭	22（水） ●開級式●校長講話 ・講師　校長　寺島光浩　氏 ●実技　ピラティス ・講師　土井さやか　氏	8（水） ●実技　ブラッシング指導 ・講師　歯科衛生士
7月	16(土) ●社会を明るくする運動	4（月） ●実技　ハーブソルトづくり ・講師　押久保美貴子　氏 16(土) ●社会を明るくする運動	8（金） ●講演　防災の備え ・講師　防災課職員 16(土) ●社会を明るくする運動
8月			
9月	14(水) ●実技　ハーバリウム作り ・講師　古関美詠子　氏		29（木） ●家庭教育シアターフォーラム 「子どもの非行と親の接し方」 ・講師　家庭教育指導員
10月			15(土) ●講話　家庭の心と体健康づくり ・講師　養護教諭
11月	16(水) ●給食センター見学	25(金) ●実技　ロールオンアロマ作り ・講師　小林由紀子　氏 ●閉級式	
12月	7(水) ●実技　クリスマスリース製作 ・講師　矢島祐紀子　氏		
1月	20（金） ●閉級式 ●講義　「親子歯磨き教室」 ・講師　歯科衛生士		21(土) ●講話・鑑賞 ・創立150周年記念式典参加 ・和太鼓演舞鑑賞
2月	16（木） ●第二回家庭教育学級運営委員研修会：市役所	16（木） ●第二回家庭教育学級運営委員研修会：市役所	16（木） ●第二回家庭教育学級運営委員研修会：市役所
3月			3（金） ●閉級式 ・講話　教頭　岡本晃郎　氏

名称	平賀小学校　なかよし学級	いには野小学校　やまゆり学級	滝野小学校　せせらぎ学級
ﾃｰﾏ	親子のふれあいを通して、地域の絆も深めよう	仲間づくりと楽しい子育て、親育ち！	Happy ～親睦を深め、学んで楽しもう！～
4月	21（木） ●第一回家庭教育学級運営委員研修会：市役所	21（木） ●第一回家庭教育学級運営委員研修会：市役所	21（木） ●第一回家庭教育学級運営委員研修会：市役所
5月			
6月	18（土） ●開級式●講話 ・講師　教頭　宮川佳久　氏 ●実技　化石発掘 ・講師　海老根　薫　氏	8（水） ●開級式 ●校長講話・校内見学 ・講師　校長　松原一弘　氏	13（月） ●開級式●校長講話 ・講師　校長　市原康之　氏 ●学校探検 ・教頭　菅谷一彦　氏
7月	2（土） ●実習　ペットボトルロケット ・講師　小林　茂　氏	16(土) ●社会を明るくする運動	7（木） ●シアターフォーラム希望講座 ・講師　穂戸田センター所長 家庭教育指導員 16(土) ●社会を明るくする運動
8月			
9月	29（木） ●家庭教育シアターフォーラム 「子どもの非行と親の接し方」 ・講師　家庭教育指導員	22(木) ●子どもの病気講座 ・講師　成田富里徳洲会医師 中川　良　Dr.	30(金) ●実技　ピラティス ・講師　土井さやか　氏
10月			
11月	9(水) ●実技　ピラティス体験講座 ・講師　土井さやか　氏	25（金） ●実技　クリスマス飾り作り ・講師　森川裕子　氏 佐藤幸恵　氏	
12月			7（水） ●実技　クリスマスフラワー ・講師　榎　倫子　氏
1月	14(土) ●閉級式 ●実習　アイシングクッキー作り ・講師　國武喜代美　氏	27(金) ●インターネットを安全に ・講師　DX推進課	18(水) ●子育て講座 ・講師　家庭教育指導員 ●閉級式
2月	16（木） ●第二回家庭教育学級運営委員研修会：市役所	16（木） ●第二回家庭教育学級運営委員研修会：市役所	16（木） ●第二回家庭教育学級運営委員研修会：市役所
3月			

名称	牧の原小学校　まきば学級	本埜小学校　大桜学級
ﾃｰﾏ	心も体も健康に 癒しとゆとりを持とう	広げよう！ ～地域みんなで楽しい子育て～
４月	２１（木） ●第一回家庭教育学級運営委員研修会：市役所	２１（木） ●第一回家庭教育学級運営委員研修会：市役所
５月		
６月	９（木） ●開級式 ●シアターフォーラム希望講座 「防ごう子どもの虐待」 ・講師　家庭教育指導員 ●有価物回収について	４（土） ●開級式 ●校長講話 ・講師　校長　小田英紀　氏 ２９（水） ●実技　親子で歯磨き ・講師　歯科衛生士
７月	１６(土) ●社会を明るくする運動	１６(土) ●社会を明るくする運動
８月		
９月	２８（水） ●出前講座　合理的配慮 ・講師　増田洋子　氏	
１０月	２５（火） ●講話　風水鑑定講座 ・講師　土御門旭王　氏	
１１月	３０(水) ●実技　クリスマスツリー飾り ・講師　宮崎ふみえ　氏 ●閉級式	９（水） ●家庭教育シアターフォーラム 「SNSの危険から子どもを守る」 ・講師　市教育センター所長 家庭教育指導員
１２月		１５（木） ●見学　ロードレース大会運営 ・講師　教頭　吉岡トヨ　氏
１月		２７(金) ●手もみ講座 ・講師　奥上みほ　氏 ●閉級式
２月	１６（木） ●第二回家庭教育学級運営委員研修会：市役所	１６（木） ●第二回家庭教育学級運営委員研修会：市役所
３月		

名称	印西中学校　さわやか学級	船穂中学校　友愛学級	木刈中学校　ニコニコ学級
ﾃｰﾏ	楽しく健康な子育て。 （活動をとおして、親同士の親睦を深める。）	活動を通して学び、 保護者間の親睦を深めよう	親睦を深め、癒しとゆとりを持つ
４月	２１（木） ●第一回家庭教育学級運営委員研修会：市役所	２１（木） ●第一回家庭教育学級運営委員研修会：市役所	２１（木） ●第一回家庭教育学級運営委員研修会：市役所
５月			
６月	９（木） ●開級式●校長講話 ・講師　校長　渡邊義規　氏		３０（木） ●開級式 ●実技　格闘技エアロビクス ・講師　笠原由加　氏
７月	１６(土) ●社会を明るくする運動	１４（木） ●開級式 ●出前講座「学習障害について」 ・講師　家庭教育指導員	１６(土) ●社会を明るくする運動
８月			
９月			１６(金) ●実技　リンパマッサージ ・講師　秋葉みどり　氏
１０月		１２(水) ●鑑賞　合唱コンクール中間発表 ２０(木) ●鑑賞　合唱コンクール	５(水) ●実技　スワッグ作り ・講師　宮崎ふみえ　氏
１１月	９(水) ●家庭教育シアターフォーラム 「秋桜の咲く日」 ・講師　家庭教育指導員		３０(水) ●実習　アイシングクッキー作り ・講師　國武喜代美　氏 ●閉級式
１２月		１５（木） ●エッセンシャルオイルを使って ・講師　猫橋　愛　氏 ●閉級式	
１月			
２月	７(火) ●講話　家庭教育学級の振り返り ・講師　教頭　東　健一　氏 １６（木） ●第二回家庭教育学級運営委員研修会：市役所	１６（木） ●第二回家庭教育学級運営委員研修会：市役所	１６（木） ●第二回家庭教育学級運営委員研修会：市役所
３月			

名称	小林中学校　ひまわり学級	原山中学校　ハツラツ学級	西の原中学校　いちょう学級
ﾃｰﾏ	親同士の交流と体の育成	楽しい時間をみんなで過ごしましょう。	活動を通じて共に学び、親睦を深め、子どもと共に輝こう
４月	２１（木） ●第一回家庭教育学級運営委員研修会：市役所	２１（木） ●第一回家庭教育学級運営委員研修会：市役所	２１（木） ●第一回家庭教育学級運営委員研修会：市役所
５月			
６月	２２（水） ●開級式 ●講話　「子育て・校外学習他」 ・講師　教頭　鈴木勝美　氏	１７（金） ●開級式 ●実技　虫よけハーブ作り ・講師　片見冨士子　氏	
７月	１６(土) ●社会を明るくする運動	１６(土) ●社会を明るくする運動	１４（木） ●開級式 ●講話　「中学生との接し方」 ・講師　　ＳＣ・吉澤恵美　氏
８月			
９月			
１０月	２０(木) ●講話 「ダイエット健康ヨーガ」 ・講師　ヨーギー青山　氏		６(木) ●希望講座 SNSの危険から子どもを守る ・講師　市教育センター職員 家庭教育指導員
１１月	１０(木) ●実技　アロマ除菌スプレー作り ・講師　小野真琴　氏	９（水） ●家庭教育シアターフォーラム 「防ごう、子どもの虐待」 ・講師　市教育センター所長 家庭教育指導員	
１２月		１３(火) ●実技　クリスマスアレンジ ●閉級式	
１月	２５(水) ●子育て講座 ・講師　家庭教育指導員 ●閉級式		
２月	１６（木） ●第二回家庭教育学級運営委員研修会：市役所	１６（木） ●第二回家庭教育学級運営委員研修会：市役所	１４(火) ●実技　アロマスプレー ・講師　小野真琴　氏 ●閉級式 １６（木） ●第二回家庭教育学級運営委員研修会：市役所
３月			

名称	印旛中学校　さわやか学級	滝野中学校　杜の里学級	本埜中学校
ﾃｰﾏ	保護者同士の交流の場を広げ、親睦を深める。	親子の心に、癒しとゆとりを持とう	**令和4年度は、新入生がいないため必修家庭教育学級はなし。**
４月	２１（木） ●第一回家庭教育学級運営委員研修会：市役所	２１（木） ●第一回家庭教育学級運営委員研修会：市役所	**２・３年生の保護者で学年家庭教育学級を実施**
５月			
６月	２８（火） ●開級式 ●校長講話 ・講師　校長　磯　昌稔　氏		
７月		５（火） ●開級式 ●校長講話 ・講師　校長　加藤知己　氏 １６(土) ●社会を明るくする運動	
８月			
９月	１３(火) ●出前講座　めざせ腸美人 ・講師　健康増進課		
１０月		２６(水) ●講話　思春期の子を持つ親のための性教育講座 ・講師　Shak　Hands	
１１月	９(水) ●実技　天然キャンドル作り ・講師　小田慶子　氏 ●閉級式	１８（金） ●懇談　誰もが安心して暮らせるために　・講師　飯田常子　氏	
１２月			
１月		３１（火） ●講話「大切にしよう、心と体」 ・講師　嶋根健人　氏	
２月	１６（木） ●第二回家庭教育学級運営委員研修会：市役所	１６（木） ●第二回家庭教育学級運営委員研修会：市役所	
３月			

前年度（令和４年度）実施した講座の中から

❖令和４年度に実施した講座の一部を紹介します。学習計画を立てる際の参考にしてください。

内　容	ハワイアンリボン・レイ作り
講師名	矢島　祐紀子　氏（ Rainbow Tiare 主催　　インストラクター）
感想等	○初めて作ってみて、不器用な私でしたが、完成した時の達成感はひとしおでした。 ○自分で作ったIDホルダー、バッグチャーム大切に使います。 ○とてもいい経験、思い出になりました。

内　容	めざせ！腸美人　「食べて納得、野菜パワー」
講師名	印西市健康増進課　　栄養士
感想等	○３食をしっかり食べる必要性を学んだり、野菜の冷凍保存のアイディアを学んだりできました。 ○自分の食生活を見直すいい機会になりました。

内　容	リフレッシュ＆ヨガ
講師名	笠原　由加　氏　（フィットネス　インストラクター）
感想等	○運動不足を感じていたので、体や足が温まり、効果を実感することができました。 ○日々の生活の忙しさから、ゆっくり自分の体と向き合う時間がありませんが、自宅でもやってみようと思える簡単なもので良かったです。また参加してみたいです。

内　容	印西の民話・伝説の素話
講師名	素話「ささのは会」　篠原　年枝　氏
感想等	○参加者のアンケートでは「是非、子どもに聞かせたい」「話に出てきたお寺に行ってみたいと思った」「言葉だけのお話にとても引き付けられた」との声がたくさんありました。

内　容	ペットボトル・ロケット作り
講師名	おもちゃ博士　小林　茂　氏
感想等	○ペットボトルロケットが、予想以上に高く・遠く飛び、また発射時に勢いよく水が噴射するので、子どもたちも大人も大変喜びました。 ○親子での参加の開催で、父親の参加も多く盛り上がりました。

内　容	ワクチンで守れる子どもの命
講師名	徳洲会病院　小児科部長　　中川　良　氏
感想等	○1年生以外の学年の保護者にも声をかけ、多くの参加者がありました。 ○コロナワクチン、日本の脳炎ワクチン、子宮頸がんワクチンなどの情報を得ることができ、大変参考になりました。 ○幼稚園と小学校で連携し、合同開催を行うことができました。

内　容	防災の備え　～自助が７割～
講師名	印西市防災課危機管理室
感想等	○災害について様々な情報を得ることができました。 ○避難所についてなど、ただ話を聴くだけでなく、実際のものを見て、触って体験できて、わかりやすく印象に残りました。

内　容	シアターフォーラム「ＳＮＳの危険から子どもを守る」
講師名	印西市教育センター所長　　家庭教育指導員
感想等	○身近で起こりそうな具体例を示していただき、親として気を付けなければならないことがよくわかりました。 ○他の学校の保護者との話し合いの場面では、よいコミュニケーションがとれ、楽しく、大変有意義な時間を過ごせました。

講座内容の詳細は、講師の先生と相談し、確認し合ってください。
ためになる講座が、他にもいろいろとありますよ。

見学施設一覧

【目　次】

1．芸術・歴史・文化
2．自然・科学
3．産業・その他

※見学先を決める場合は，事前に見学先に直接問い合わせてください。
※インターネットなどで下調べすることをお勧めします。

【芸術・歴史・文化】

名　称	ＤＩＣ川村記念美術館		
電話番号	0120-498-130	住　所	〒285-0078　千葉県佐倉市坂戸631
概　要	１７世紀～現代美術に至る絵画の展示。レンブラント，ルノワール，モネ，シャガール，ピカソ，横山大観，尾形光琳など		
入場料	展示内容によって変わります。ホームページで確認してください。 【目安】一般1,000円，学生・65歳以上800円，小・中高校生600円		
休館日	月曜日（休日の場合，翌平日休館），年末年始，展示替の臨時休館		
ホームページ	http://kawamura-museum.dic.co.jp/		

名　称	千葉県立美術館		
電話番号	043-242-8311	住　所	〒260-0024　千葉市中央区中央港1-10-1
概　要	千葉県ゆかりの美術資料を中心に展示。「みる，かたる，つくる」活動により新たな知見を創造し，美術情報を発信します。		
入場料	【常設展】一般300円，高校・大学生150円，中学生以下・65歳以上無料 【企画展】一般500円，高校・大学生250円，中学生以下・65歳以上無料 【特別企画展】一般800円，高校・大学生400円，中学生以下・65歳以上無料		
休館日	月曜日（休日の場合，翌日休館），年末年始		
ホームページ	https://www.chiba-muse.or.jp/ART/		

名　称	国立歴史民俗博物館		
電話番号	043-486-0123	住　所	〒285-8502　千葉県佐倉市城内町117
概　要	日本の歴史と文化を総合的に学習できるように，原始・古代～近代の歴史と日本人の民俗世界を実物資料・精密な複製品・復元模型を展示。		
入場料	一般600円，高校・大学生250円，小・中学生無料		
休館日	月曜日（休日の場合，翌日休館），12月27日～1月4日		
ホームページ	https://www.rekihaku.ac.jp/		

名　称	千葉県立中央博物館		
電話番号	043-265-3776	住　所	〒260-8682　千葉県千葉市中央区青葉町955-2
概　要	千葉県の自然と歴史を総合的に学べます。隣接する生態園では，房総の代表的な自然が再現され，動植物の生態を身近に観察できます。		
入場料	【通　常】一般300円，高校・大学生150円，中学生以下・65歳以上無料 【企画展】一般500円，高校・大学生250円，中学生以下・65歳以上無料 【特別展】一般800円，高校・大学生400円，中学生以下・65歳以上無料		
休館日	月曜日（休日の場合，翌平日休館），12月28日～1月4日		
ホームページ	http://www2.chiba-muse.or.jp/		

名　称	千葉県立房総のむら		
電話番号	0476-95-3333	住　所	〒270-1506　千葉県印旛郡栄町龍角寺1028
概　要	原始・古代～近・現代の衣・食・住・技の移り変わりを，当時の環境の中で体験できる参加体験型の博物館。房総風土記の丘を含む。		
入場料	一般300円，高校・大学生150円，中学生以下・65歳以上無料		
休館日	月曜日（休日の場合，翌日休館），12月25日～1月1日，5月6日，2月14日		
ホームページ	https://www2.chiba-muse.or.jp/MURA/		

名　称	メディアパーク市川（市川市生涯学習センター内）		
電話番号	047-320-3333	住　所	〒272-0015　千葉県市川市鬼高1-1-4
概　要	中央図書館，文学ミュージアム，教育センター，中央こども館の複合した「よむ，きく，まなぶ，あそぶ」ができる生涯学習センター		
入場料	無料		
休館日	月曜日（休日の場合，翌日休館），国民の祝日，年末年始		
ホームページ	http://www.city.ichikawa.lg.jp/edu13/1111000021.html		

名　称	さわやかちば県民プラザ		
電話番号	04-7140-8600	住　所	〒277-0882　千葉県柏市柏の葉4-3-1
概　要	生涯学習の推進を図るための「生涯学習センター」，参加型芸術文化活動の推進を図るための「文化芸術センター」の複合施設		
入場料	無料		
休館日	月曜日（休日の場合，翌日休館），12月28日～1月4日		
ホームページ	https://www.skplaza.pref.chiba.lg.jp/		

名　称	千葉県立関宿城博物館		
電話番号	04-7196-1400	住　所	〒270-0201　千葉県野田市関宿三軒家143-4
概　要	近世～近代に利根川水運の中継地として栄え，高瀬船などが往来した歴史に基づく川と人々の産業，文化，自然などの模型や映像資料による展示		
入場料	【通　常】一般200円，高校・大学生100円，中学生以下・65歳以上無料 【企画展】一般300円，高校・大学生150円，中学生以下・65歳以上無料		
休館日	月曜日（休日の場合，翌日休館。ただし，5月1日は開館），12月26日～31日		
ホームページ	https://www.chiba-muse.or.jp/?page_id=61		

名　称	相田みつを美術館（東京国際フォーラムガラス棟地下1階）		
電話番号	03-6212-3200	住　所	〒100-0005　東京都千代田区丸の内3-5-1　東京国際フォーラム地下１階
概　要	「相田みつを」作品の展示（入替あり）		
入場料	一般・大学生1000円，中・高校生・70歳以上800円，小学生300円， 未就学児無料		
休館日	月曜日（祝休日の場合は開館，振替休日なし）		
ホームページ	http://www.mitsuo.co.jp/museum/index.html/		

【自然・科学】

名　称	千葉県立現代産業科学館		
電話番号	047-379-2000	住　所	〒272-0015　千葉県市川市鬼高1-1-3
概　要	産業に応用された科学技術を体験的に学べる科学館		
入場料	【通　常】一般300円，高校・大学生150円，中学生以下・65歳以上無料 【企画展】一般500円，高校・大学生250円，中学生以下・65歳以上無料		
休館日	月曜日　※詳細はホームページを確認してください。		
ホームページ	http://www.chiba-muse.or.jp/SCIENCE/		

名　称	航空科学博物館		
電話番号	0479-78-0557	住　所	〒289-1608　千葉県山武郡芝山町岩山111-3
概　要	実物，模型，図版，記念物，文献などで航空に関する科学知識を学べる博物館 操縦模擬体験（DC-8シミュレーター）あり		
入場料	大人500円，中・高校生300円，こども（４歳以上）200円		
休館日	月曜日（休日の場合，翌日休館），12月29日～31日		
ホームページ	http://www.aeromuseum.or.jp/		

名　称	千葉県立手賀の丘少年自然の家		
電話番号	04-7191-1923	住　所	〒270-1456　千葉県柏市泉1240-1
概　要	プラネタリウム・体育館を有し，ウォークラリーや自然・ホタル観察ができる 青少年教育のための宿泊研修施設		
入場料	【プラネタリウム】1人1回200円 【宿泊施設利用料】1人1泊18歳以上830円,18歳未満300円※3歳未満対象外		
休館日	月曜日（休日の場合，翌日休館），12月28日～1月4日		
ホームページ	http://www.tega.jp/		

名　称	市川市動植物園		
電話番号	047-338-1960	住　所	千葉県市川市大町284
概　要	レッサーパンダやスマトラオランウータンなどがおり，モルモットにさわること ができる，動物たちとのふれあいがテーマの動物園		
入場料	（動物園）大人440円，小・中学生110円，小学生未満無料 （植物園）無料		
休館日	月曜日（休日の場合，翌日休館），年末年始		
ホームページ	http://www.city.ichikawa.lg.jp/zoo/		

名　称	市川市立市川自然博物館（市川市動植物園内）		
電話番号	047-339-0477	住　所	〒272-0801　千葉県市川市大町284
概　要	「市川の自然」をテーマに標本・模型・解説パネルで市内で観察できる身近な自然を展示		
入場料	無料（併設の動物園は入園料がかかります）		
休館日	月曜日（休日の場合，翌日休館），年末年始		
ホームページ	http://www.city.ichikawa.chiba.jp/shisetsu/haku/		

名　称	手賀の丘公園		
電話番号	04-7193-0010	住　所	〒270-1453　千葉県柏市片山275
概　要	フィールドアスレチック，じゃぶじゃぶ池，恐竜すべり台，キャンプ場，バーベキュー広場など		
入場料	無料　※バーベキュー広場，キャンプ場などは有料		
休館日	月曜日（休日の場合，翌平日休館），12月29日～1月3日		
ホームページ	http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/110900/p002529.html		

名　称	千葉県手賀沼親水広場　※平成29年度より，各施設順次オープン予定。		
電話番号	04-7184-0555	住　所	〒270-1146　千葉県我孫子市高野山新田193
概　要	「水の館」で手賀沼や水と親しみながら水と人との関わりや手賀沼の浄化について学べる。		
入場料	無料		
休館日	火曜日から木曜日（時期により変動。詳細はホームページ参照），12月29日～1月3日		
ホームページ	http://www.city.abiko.chiba.jp/event/shisetsu/mizunoyakata.html		

名　称	葛西臨海水族園		
電話番号	03-3869-5152	住　所	〒134-8587　東京都江戸川区臨海町6-2-3
概　要	ドーナッツ型の大型水槽を回遊するクロマグロやペンギンなど約600種の生物が飼育されている。葛西臨海鳥類園併設。		
入場料	一般700円，中学生250円，65歳以上350円 ※小学生以下・都内在住在学の中学生無料		
休館日	水曜日（休日の場合，翌日休館），12月29日～1月１日		
ホームページ	http://www.tokyo-zoo.net/zoo/kasai/		

名　称	国立科学博物館　筑波実験植物園		
電話番号	029-851-5159	住　所	〒305-0005　茨城県つくば市天久保4-1-1
概　要	日本国内外の植物を温帯地域から熱帯地域に至るまで世界中から集めている。サバンナ温室，熱帯雨林温室，水生植物温室がある。		
入場料	一般・大学生320円，高校生以下・65歳以上無料		
休館日	月曜日（祝日・休日の場合は開園），祝日・休日の翌日（土・日曜日の場合は開園），12月28日～1月4日		
ホームページ	http://www.tbg.kahaku.go.jp/		

名　称	つくばエキスポセンター		
電話番号	029-858-1100	住　所	〒305-0031 茨城県つくば市吾妻2-9
概　要	宇宙・海洋・原子力などを展示。深海探査艇の模型で深海世界体験施設，プラネタリウム，実物大ロケット模型で遊びながら科学を体験できる科学館		
入場料	高校生以下250円，18歳以上500円，3歳以下無料 【プラネタリウム利用あり】高校生以下500円，18歳以上1000円		
休館日	月曜日（休日の場合，翌日休館），月末最終火曜日，年末年始		
ホームページ	http://www.expocenter.or.jp/		

名　称	東京消防庁本所都民防災教育センター（本所防災館）		
電話番号	03-3621-0119	住　所	〒130-0003　東京都墨田区横川4-6-6
概　要	地震・煙・消火・応急手当・暴風雨体験コーナーや防災シアターなど防災体験をできる施設		
入場料	無料		
休館日	水曜日・第３木曜日（休日の場合，翌日休館），12月28日～1月４日		
ホームページ	http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-hjbskan/		

名　称	千葉県立水郷小見川少年自然の家		
電話番号	0478-82-1343	住　所	〒289-0313　千葉県香取市小見川5249-1
概　要	カヌー・宿泊・キャンプ・プラネタリウム・ミニバスケットボールなどの軽スポーツをできる体験型青少年育成施設		
入場料	有料　※詳細はホームページを確認してください。		
休館日	月曜日（休日の場合，翌日休館），12月28日～1月4日		
ホームページ	http://suigou-omigawa.com/		

名　称	千葉県西部防災センター		
電話番号	047-331-5511	住　所	〒271-0092　千葉県松戸市松戸558-3
概　要	地震・風水害・煙体験，応急救護・消火・通報訓練，災害映像視聴など災害に関する学習・体験をできる施設		
入場料	無料		
休館日	火曜日（休日の場合，翌日休館），12月28日～1月4日		
ホームページ	http://www.bousai-chiba.jp		

名　称	白井市文化センター　プラネタリウム		
電話番号	047－492-1125	住　所	〒270-1422　千葉県白井市復1148-8
概　要	季節ごとのプラネタリウム番組（約45分）を投映。天文に関する教室・後援会を実施。※２０人以上の団体は，投映時刻以外にも投映します。		
入場料	市外大人350円，市外子ども（小・中学生、座席を使用する幼児）160円		
休館日	月曜日（祝日と重なった場合，休館），12月29日～1月4日		
ホームページ	http://www.center.shiroi.chiba.jp/planet/		

名　称	三陽メディアフラワーミュージアム（千葉市花の美術館）		
電話番号	043-277-8776	住　所	〒261-0003　千葉県千葉市美浜区高浜7-2-4
概　要	熱帯・亜熱帯植物の温室棟，展示棟，庭園で，約1,600種の植物を植栽。みどりの相談所で，花の育て方・飾り方など「花のある豊かな暮らし」を提案。		
入場料	大人300円，小・中学生150円		
休館日	月曜日（休日の場合，翌日休館），12月29日～1月3日		
ホームページ	http://cga.or.jp/flower/		

名　称	谷津干潟自然観察センター		
電話番号	047-454-8416	住　所	〒275-0025　千葉県習志野市秋津5-1-1
概　要	谷津干潟と飛来する鳥たちの観察・学習できるほか展示，干潟が一望できる観察スコープやビデオの上映や野鳥の解説を行うレクチャールームがある。		
入場料	高校生以上380円，65歳以上190円，未就学児と小・中学生無料 ※65歳以上は健康保険証など年齢が証明できるものをご提示ください。		
休館日	月曜日（休日の場合，翌平日休館），12月28日～1月1日		
ホームページ	http://www.seibu-la.co.jp/yatsuhigata/		

名　称	きぼーる　科学館・プラネタリウム		
電話番号	043-308-0511	住　所	〒260-0013　千葉県千葉市中央区中央4-5-1
概　要	科学館・プラネタリウムのほか，子ども交流館などを併設する複合施設 ※詳細はホームページを確認してください。		
入場料	【科学館】大人510円，高校生300円，小中学生100円 ※企画展示は別料金 【プラネタリウム】大人510円，高校生300円，小中学生100円		
休館日	【科学館・プラネタリウム】機器点検日，年末年始		
ホームページ	http://www.qiball.info/		

名　称	ミュージアムパーク　茨城県立自然博物館		
電話番号	0297-38-2000	住　所	〒306-0622　茨城県坂東市大崎700
概　要	雑木林・谷津田などの自然体験学習，宇宙の進化と地球の生いたちや自然と生命の営みについての展示，地域のコミュニティスペースなど。		
入場料	【通常】大人540円，高校・大学生340円，小中学生100円 【企画展】大人750円，高校・大学生460円，小中学生150円 ※詳細はホームページを確認してください。		
休館日	月曜日（休日の場合は開館し，翌日休館）		
ホームページ	https://www.nat.museum.ibk.ed.jp/		

【産業・その他】

名　称	カガミクリスタル（株）		
電話番号	0297-64-7111	住　所	〒301-0852　茨城県竜ヶ崎市向陽台4-5　つくばの里工業団地
概　要	1,000℃を越す温度に溶けたガラスの熱気を間近に感じながら，工場で作業の見学（50分）。5～50名。成人のみ。1週間前までに電話申込。		
入場料	無料		
休業日	土・日曜日，祝祭日		
ホームページ	http://www.kagami.jp/		

名　称	なごみの米屋　第二工場		
電話番号	0476-36-2031	住　所	〒286-0825　千葉県成田市新泉32　野毛平工業団地
概　要	品質管理・衛生といった羊羹の製造工程に関するビデオ上映と工場見学（約60分）。月～金曜日，午前9時～午後4時。１か月までに電話予約。80名まで。		
入場料	無料		
休業日	土・日曜日，祝日		
ホームページ	http://www.nagomi-yoneya.co.jp/company/kengaku/		

名　称	サッポロビール千葉工場		
電話番号	047-437-3591	住　所	〒273-0014　千葉県船橋市高瀬町2
概　要	ビールの製造工程の見学（約50分）。2～40名。事前予約制。 ※未成年者のみの参加はできません。		
料　金	大人500円，中学生～20歳未満 300円，小学生以下無料　※試飲2杯・記念品付き		
休館日	月曜日（休日の場合，翌日休館），年末年始		
ホームページ	http://www.sapporobeer.jp/brewery/chiba/		

家庭教育講座　　普通救命講習Ⅰ

１　講　師　　印西市職員・印西市内消防署救急隊員（講師料：無料）

２　対　象　　印西市家庭教育学級対象者

３　人　数　　原則１０人以上（応相談）

４　会　場　　申し込む方が会場を確保・準備してください。
※当日の会場作りも含みます。

５　時　間　　応相談

６　申し込み　＊印西消防署　　電話：0476-42-0119
＊印西西消防署　電話：0476-47-0119
＊牧の原消防署　電話：0476-46-9992
＊印旛消防署　　電話：0476-99-0119
＊本埜消防署　　電話：0476-97-0119

７．内容（１）講　　師　　印西市内消防署　救急隊員による救命救急講習
（２）学習時間　　90 分～２時間程度
（３）講習開催条件　❖人数・・・１０名以上（他学年との合同でも可能）
❖場所・・・活動できる広い場所
❖時間・・・３時間を確保（準備・片付けを含む）
（４）その他
❖小児救命講習も含みます。
❖修了者には普通救命講習修了者カードが交付されます。

上記に示した
最寄りの消防署に
お申し込みください。

家庭教育シアターフォーラム

公民館などを会場に、家庭教育学級の一講座としてシアターフォーラムを開催します。

毎回、テーマに即したＤＶＤ（視聴覚教材）を鑑賞した後、参加者同士で自由に感想を述べ合い、講師からの助言もあります。皆さんで一緒に考えていきましょう。他の学校の保護者との交流ができる場合もあります。

日程が学校行事などと重なり、公民館での開催に参加できない場合には、ご都合に応じて、各園や学校に家庭教育指導員が出向いて開催することもできます。是非ご活用ください。

令和5年度 公民館・交流館で シアターフォーラム

日　時		会　場	テーマ・上映題材
９月１３日(水)	10:00 ～ 11:30	中央公民館	防ごう子どもの虐待
９月２７日(水)		印西市役所	子どもの非行と親の接し方
１０月２５日(水)		中央駅前 地域交流館	悩まずアタック 脱・いじめのスパイラル
１１月　８日(水)		印旛公民館	秋桜の咲く日
１１月２２日(水)		そうふけ公民館	SNS の危険から子どもを守る ～親子でしっかり安全対策～

※　定員は、各回２５名程度です。
※　駐車場に限りがありますので、なるべく乗り合わせでお越しください。
※　事前に申し込みのなかった講座は実施しません。

視聴覚教材資料について、ひとこと解説

❖防ごう　子どもの虐待

虐待の芽は日常生活の中に潜んでおり、誰もが虐待の当事者になる可能性があるといえます。子育ての中で起きる問題から、虐待を防ぐためにできることを考えていきます。

❖子どもの非行と親の接し方

子どもの非行の事例２話「叱ってよ」「見捨てないで」から、専門家の解説を交えながら親の接し方を考えていきます。そして、日頃の親子の交流、会話の大切さを学びます。

❖悩まずアタック」脱・いじめのスパイラル

いじめに遭って悩み苦しんだ女子中学生の実話を基に、周囲の人々が子どもの「SOS」を正確につかみ、的確に対処することの大切さを学びます。

❖秋桜(コスモス)の咲く日

発達障害のある直也の生きづらさや痛みを伝えるとともに、周囲の人々が違いを理解し、「認め合うことの大切さ」「ともに生きることの喜び」を伝えます。

❖SNS の危険から子どもを守る　～親子でしっかり安全対策～

小・中・高校生が直面するネットのトラブルの実態を紹介しトラブルを避けるために注意するポイントや、万が一トラブルになってしまった場合の対処法について学びます。

園や学校で シアターフォーラム

◎公民館・交流館で開催する日時には学校行事で行けない、といった場合、ご希望に応じて、各園や学校で開催することもできます。日時・場所・テーマについて、下記申し込みまでお問い合わせください。家庭教育指導員が出向いて開催することも可能です。

この他、家庭教育指導員による **子育て講座** もあります。
テーマ（ほめ方・叱り方・自己肯定感・発達障害・不登校など）については、ご相談ください。
皆さんで、語り合い、日々の子育てを共に振り返る時間を過ごしましょう。

【申し込み】
印西市教育委員会生涯学習課推進係
電　　話　　０４７６－３３－４７１３（直通）
ＦＡＸ　　０４７６－４２－００３３

視聴覚教材一覧

【問合せ先】教育委員会教育部生涯学習課推進係（市役所内）０４７６－３３－４７１３

＊上映時間･内容を確認して、上記にお問い合わせください。

No	題　名	時間（分）	内　　容	対象
1	子育て不安を乗り越えて	22	子育てに不安を感じる人々が増えている。うまく子どもと接することができない。自分は母親失格なのでは。生活の利便性が高まりながら、なぜ、親たちは子育てに不安と戸惑いを持つのでしょう。子育てをどうとらえ、どう取り組めば、子育て不安を乗り越えられるのか。大学教授や支援センター、親たちのインタビューを交え、不安を乗り越えるヒントや視点を親たちや子育て支援に取り組む人々に伝える。	一般
2	子育て支援に求められるもの	26	〈子育て支援者へ向けて〉子育て支援への取り組みが注目されている施設の支援者に、子育ての支援のポイントや課題、陥りやすい問題点、工夫点などを聞いている。大学教授から支援者や親に向けての子育て支援のヒントや視点を伝える。	一般
3	起こる前に考える子ども虐待	39	孤独な群衆がうごめく今　社会の病「虐待」をどのように理解したらよいのか。子どもたちを守るあらゆる立場の人のための６つの断章で考える。１．社会問題化している虐待　２．なぜ起こる子どもの虐待　３．虐待を起こしてしまう感情のうねり　４．虐待を受けた子どもの反応　５．愛着形成と子どもの育ちを知る・・虐待防止のために　６．虐待防止に向けたさまざまな取り組み　具体的な子育ての悩みや対応の仕方をインタビューを通して伝え、専門家のコメントを聞き、考えていく。	一般
4	防ごう、子どもの虐待～日常の子育てから考える～ ❖シアターフォーラムで視聴（9／13）	25	虐待の芽は日常生活の中に潜んでおり、誰もが虐待の当事者になる可能性があるともいえる。子育ての中で起きる問題から、虐待を防ぐためにできることを考えていく。（共働きの家庭で起きがちな虐待。中学受験に伴って起きる心理的虐待。虐待の通報）	一般
5	子どもの非行と親の接し方 ❖シアターフォーラムで視聴（9／27）	24	子どもの非行の事例２話「叱ってよ」「見捨てないで」から、専門家の解説を交えながら、親の接し方を考えていきます。そして、日頃の親子の交流、会話の大切さを学びます。	一般
6	拉致～許されざる行為　北朝鮮による日本人拉致の悲劇～	30	北朝鮮による拉致の実情や取り組みについて、インタビューの様子や国の取組等について映像で伝える。重大な人権問題としてとらえ、日本だけでなく国際問題としても取り上げていることを映像を通じて伝えている。〇すべての拉致被害者の安全確保と速やかな帰国〇真相究明〇拉致実行犯の引き渡し　を提起し取り組んでいることを知ってもらいたい。	一般

No	題　名	時間（分）	内　　容	対象
7	メッセージ“私たちと人権”1	60	私たちの社会は、様々な偏見や差別が絡み合い、人権が脅かされている。当事者たちの声に耳を傾け、差別のない、お互いが尊重される社会の実現にむけて“私たちと人権”について一緒に考える。精神科医香山リカさん、写真家長倉洋海さん、人材育成ｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ辛淑玉さん、狭山事件再審請求人石川一雄さんの４名が各々の立場で語る。	一般
8	メッセージ“私たちと人権”2	60	いじめにあい、不登校、リストカット、自殺未遂などを経験した雨宮処凛さん、基地があり米兵がいるのがあたりまえの中で育った藤木勇人さんが自分の人生を語る。タレントのサヘルローズさんは、イラン・イラク戦争で孤児となった悲惨な体験、いじめ、外国人差別を受け乗り越えた体験と夢を持って生きることの意味を語る。神美知宏さんは、全てのハンセン病患者が人間としての尊厳を回復できるよう訴える。	一般
9	いじめ脱却マニュアル	32	子どもたちのいじめ体験を再現ドラマ化として挿入しながら、より分かりやすく、いじめへの対応方法を解説します。解説者は、恵泉女学園大学大学院教授　大日向雅美先生、教育評論家　尾木直樹先生、思春期問題の精神科医斎藤環先生。子どもの心情を汲み取りつつ、教師の立場、親の目線、カウンセリングの視点から総合的にいじめをとらえ、現場ですぐに活用できる対策が紹介されている。	小学生～一般
10	悩まずアタック！脱・いじめのスパイラル ❖シアターフォーラムで視聴（10／25）	33	いじめに遭って悩み苦しんだ女子中学生の実話（中１の主人公がバレーボール部でいじめにあい、自殺まで考える。）を基に、周囲の人々が子どもの「SOS」を正確につかみ、的確に対処することの大切さを学ぶ。	小学生～一般
11	秋桜の咲く日 ❖シアターフォーラムで視聴（11／8）	34	発達障害のある直也の生きづらさや痛みを伝えるとともに、周囲の人々が違いを理解し、「認め合うことの大切さ」「ともに生きることの喜び」を伝える。	中学生～一般
12	imagination（イマジネーション）想う　つながる　一歩ふみだす	34	いじめのサインに、気付くことはできるのか。いじめをなくすためにできることはあるのか。同和問題と、どう関わっていけばいいのか。発達障害の人たちと共に生きるために、どのように向き合うことが必要なのかを考えていく。３つのドラマを通して考えていく。	中学生～一般
13	みんなで考えよう、スマートフォン	35	ネットいじめやSNSでの不適切な投稿、フィッシング詐欺による課金被害など、近年の社会問題をテーマにしている。スマートフォンの使い方を３つのドラマや解説映像をもとに考えていく。	小学生～一般

No	題　名	時間（分）	内　　容	対象
14	ＳＮＳの危険から子どもを守る ～親子でしっかり安全対策～ ❖シアターフォーラムで視聴（11／22）	22	小・中・高校生が直面する主なネットのトラブルの実態を紹介し、トラブルを避けるために注意するポイントを解説。さらに、万一トラブルになってしまった場合の対処法についても紹介。ネットを安全に使うためには、どのようなことを心がけたらよいか、大人と子どもが共に考え、学んでいくきっかけとなることを目指す。	小学生～一般
15	合理的配慮の実践法～障害のある者、ない者が共に学ぶ～	20	合理的配慮について、人権・差別の観点からわかりやすく解説し、正しい理解を促します。その上で、様々な特性・症状を持った障害児たちが生き生きと学校生活を送るために、どのような配慮をすればよいか、具体例で紹介する。	一般
16	知りたい あなたのこと ～外見からはわからない障害・病気を抱える人～	21	外見からはわからない障害や病気を抱えながら日常生活を送っている人は多くいます。一見すると健康そうに見えるので、障害や病気が周囲に理解されず、辛い思いをすることもあるといいます。 この作品では、二人の難病患者さんとてんかんと発達障害をもつ大学生を取材しました。どんな場面で困っているのか、どんな配慮が求められているのか。外見からはわからない障害や病気を抱える人の話を通じて、私たちにできる配慮を共に考えていく内容です。	一般

ＤＶＤを視聴し、皆さんで一緒に考えていきましょう。
子育てや自分自身の生き方の参考になることが、見つかるのではないかと思います。
また、同じ時間を共有することで、保護者同士の繋がりが感じられることでしょう。

令和5年度印西市家庭教育学級用
給食センター見学・講義等取り扱い要項

１　講座の目的

家庭教育の学習として，学校給食への理解と食育の重要性を学ぶための講座です。

２　実施内容

令和５年度は，児童生徒数の増加により調理能力を超えた対応となるため，給食の試食は実施しません。

各給食センターの施設状況により，栄養士の講師派遣（学校などの他の会場での講義），または，センター見学・講義となります。下記の表でご確認ください。

なお，新型コロナウイルスの感染拡大の状況により開催を見合わせる場合もあります。詳細については，各給食センターへお問い合わせください。

施設名（給食提供校）	内容		実施時期
	栄養士の講師派遣	センター見学・講義(受入可能人数)	
中央学校給食センター第一調理場 （小学校６校：原山小・高花小・原小・木刈小・小林小・滝野小）	実施	実施 （４０名）	9月１日以降
中央学校給食センター第二調理場 （小学校７校：大森小・木下小・小倉台小・内野小・船穂小・西の原小・小林北小）			
牧の原学校給食センター （中学校７校：印西中・船穂中・木刈中・原山中・西の原中・小林中・滝野中）	実施	実施 （20名）	６月1日以降
印旛学校給食センター （小学校５校中学校２校：六合小・平賀小・いには野小・本埜小・牧の原小・印旛中・本埜中）	実施	実施 （20名）	６月１日以降

※給食提供校の家庭教育学級を受入対象とします。
※受入可能人数を超える場合，学校での開催を考慮してください。
※８月は実施しません。

３　申請について

（１）　申請方法

家庭教育学級担当保護者（代表者）から給食センターに依頼してください。
各給食センターともに５月１日から受付を開始します。

〇申請先：各給食センター
〇別紙『学校給食見学・講義依頼申請書』に必要事項を記入の上，提出してください。（ＦＡＸで申請する場合は，電話連絡も入れてください。）
〇受付は，実施予定日の１ヶ月前までとします。

（２）　申込上の注意

〇１学級１回とします。

〇実施の可否については，申請書の受理後，給食センターからご連絡します。なお，日程・内容の調整等をさせていただくことがあります。

〇実施時間・参加人数については，各給食センターへご相談ください。講義時間はおよそ１時間程度，見学の場合は９：３０～１０：３０位を目安としてください。

〇学校等，他の会場で実施する場合には，代表者が会場の借用をお願いします。

４　実施にあたって

（１）健康調査票について

〇当日，見学希望者全員分の健康調査票を提出してください。（健康調査票は参加人数分を各学級で作成し，学校・自宅等で事前に記入し，代表者がまとめて見学・実施施設に持参してください）

〇健康調査票で異常があった場合は，出席をご遠慮くださるよう代表者から指示してください。

（２）試食について

〇令和５年度については，試食は行いません。

（３）見学同伴者について

〇小さいお子様は，なるべくご遠慮ください。

〇お子様同伴の場合は，お子様が床や壁等に触れないよう衛生面に注意いただきますとともに，講義等においても他の見学者の迷惑にならないよう十分にご配慮くださるようお願いします。

（４）その他

〇筆記用具，履物（スリッパ等）をご持参ください。

〇見学の駐車場については，スペースに限りがありますので，相乗りでお願いします。各給食センターにご相談ください。

〇感染状況によりマスクの着用をお願いする場合があります。

５ その他

〇栄養士による調理実習は行いません。

６　問合せ先・申し込み先

◆中央学校給食センター　　TEL　３３－３３１６　FAX　４５－８７００
◆牧の原学校給食センター　TEL　４２－４７００　FAX　４２－５１６６
◆印旛学校給食センター　　TEL　９８－０４２９　FAX　９８－０４４９

《給食センター申請用》

令和　　年　　月　　日

給食センター所長　様

学校　　年　　家庭教育学級

学校給食講師派遣・見学依頼申請書

このたび、下記のとおり家庭教育学級を開催いたしますので、講師派遣依頼、施設見学についてお取り計らいくださいますようお願いいたします。

記

１．内　容　　（　講師派遣　・　見学　）

２．講義会場　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

※学校等、他の会場で実施する場合には、代表者が会場の借用をお願いします。

３．希 望 日　　第１希望　　月　　日（　）
　　第２希望　　月　　日（　）
　　第３希望　　月　　日（　）
※ご記入ください。

４．予定人数　＿＿＿＿名

５．連絡先

代表者氏名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

住所　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話　＿＿＿（　　）＿＿＿

６．要望事項

健　康　調　査　票

令和　　年　　月　　日

＿＿＿＿＿＿＿学校　＿＿年＿＿＿＿＿＿＿家庭教育学級

参加者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　当日の体温＿＿＿＿＿℃

（　年　組　児童氏名＿＿＿＿＿＿＿＿　）

※本日の健康状態（当てはまるところに丸をつけてください。）

1	下痢をしている	は　い　・　い い え
2	発熱・腹痛・嘔吐をしている	は　い　・　い い え
3	本人もしくは同居者に感染症 または、その疑いがある。	は　い　・　い い え
4	平熱よりも明らかに高い熱が出ている※平熱＋１℃以上	は　い　・　い い え
5	強いだるさ（倦怠感）がある	は　い　・　い い え
6	息苦しさ（呼吸困難）がある	は　い　・　い い え
7	咳をしている	は　い　・　い い え
8	嗅覚・味覚の異常がある	は　い　・　い い え

※異常がありましたら、今回の参加はご遠慮ください。

※当日、代表者は、この用紙をまとめて担当栄養士に提出してください。

令和５年度印西市家庭教育学級の手引き

発　　行　　令和５年４月

編集・発行　　印西市教育委員会

教育部生涯学習課推進係

【住所】　〒270-1396　印西市大森2364-2
【電 話】　0476-42-5111（代表）
0476-33-4713（直通）
【FAX】　0476-42-0033
【Eメール】　syougaku@city.inzai.chiba.jp